

安全データシート〈SDS〉兼 要約 GHS分類シート

最初に

本 SDS は、敏感肌の方にも対応した内容で作成しており、危険性が誇張された表現や例が多々含まれております。当製品は「身体にも環境にも優しい」を基本コンセプトとしており、一般的な場合は問題無く使用が可能です。ご心配ごとが御座いましたら、都度お問合せを頂ければ幸いです。

1. 化学品及び会社情報

製品名	: インパクトクリーナー ムースタイプ 〈IMPACT CLEANER MOUSSE TYPE〉
用途	: 油分洗浄・その他汚れ落とし
製造者	: 株式会社 Wing M
販売者	: 株式会社 Wing M
住所	: 〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目4番8号
電話番号	: 011-748-3103
FAX番号	: 011-748-3104
メールアドレス	: info@wing-m.net
緊急連絡先	: 011-748-3103

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性（経口）	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷	区分1
	眼刺激性	
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分2
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分2
環境有害性	水性環境有害性 短期(急性)	区分3
	水性環境有害性 長期(慢性)	区分外

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H223 可燃性/引火性エアゾール
H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ
H301- 飲み込むと有害な場合有り
H314+ H318- 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷を負う可能性あり
H332+ H334- 吸入すると有害な場合有り、アレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
H361- 生殖能力又は胎児への悪影響のおそれ
H371- 中枢神経、全身毒性の障害のおそれ
H373- 長期にわたる又は反復ばく露による血液系、呼吸器系の障害のおそれ
H402+ H412- 水生生物に有害

注意事項

安全対策

P260+ P261- 粉じん/煙/ガス/ミスと/蒸気/スプレアの吸入をしないこと、避けること
P264- 取扱後は手や接触箇所の皮膚をよく洗うこと

応急措置

P301+ P330+ P331- 飲み込んだ場合は、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと
P303+ P361+ P353- 皮膚や髪に付着した場合は、衣類や皮膚を水又はシャワーで洗うこと
P305+ P351+ P338- 眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること

保管	P310 – 症状が酷い場合は、速やかに医師の手当てを受けさせる。本第4項参照のこと
廃棄	P404+ P410 – 容器容器に保管をし、日光から遮断すること P501 – 内容及び容器は承認をされた廃棄物処理場にて適切な廃棄を推奨する 排水処理基準を遵守して廃棄すること
使用上の注意	本安全データシート(SDS)を参照のこと

3. 組成、成分情報

含有成分	CAS No.	含有率
水	7732-18-5	90%
非イオン界面活性剤	非公開	非公開
陰イオン界面活性剤	非公開	0.8%
メタ珪酸ソーダ	13517-24-3	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	2.1%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、安静にさせ速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	流水/シャワーと石鹸でよく洗い、皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄をする。 刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせずに口をすすがせ、直ちに医師の手当てを受けさせる。

5. 火災時の措置

消火剤	霧状水、粉末、泡、炭酸ガス、乾燥砂、等適宜
消化方法	不燃性。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業には必ず保護具を着用する。十分な換気若しくは通気性の良い所で作業する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避ける。
除去方法	可能な限り、ウエス等で吸着させたりして回収する。 必要があれば希釈して回収し、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	吸入、皮膚への接触を避け、眼に入らないように適切な保護具を着用する。 取扱いは、換気の良い場所で行う。 取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設ける。
注意事項	換気の良い場所で取り扱う。 皮膚及び眼への接触を避ける。
安全取扱注意事項	取扱い後は、よく手洗い等を行う。 適切な保護具を着用する。
保管 適切な保管条件	容器を密閉して、換気の良い場所で保管する。 直射日光を避け、火気や熱源から遠ざけ、また凍結させない状態で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界	化学名	CAS Number	日本産業衛生学会 許容濃度	米国産業衛生専門家会議 ACGIH
	液化石油ガス	-	-	1,800mg/m ³ (TWA)

設備対策	取扱い場所には、適切な換気装置を使用する。 近くに手洗い、洗眼等の設備を設ける。
保護具 呼吸器の保護具	呼吸保護具
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服
衛生対策	取扱後は、付着品の一切をよく洗うこと 取扱中に飲食又は喫煙をしないこと 付着した衣類は脱ぎ、洗濯をしてから再使用すること。

9. 物理的及び化学的性質(噴射剤を除く)

物理的形狀	液体	比重	1.0
色	無色	蒸気圧	水と同じ
臭い	刺激臭	蒸気密度	水と同じ
pH	pH13.5±0.5	蒸発率	約1.0
沸点	100℃	水溶性	完全水溶
引火点	なし		

10. 安定性及び反応性(噴射剤を除く)

予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定。酸性物質と激しく反応して発熱する。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	区分4	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分2
皮膚腐食性・刺激性	区分1		
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分2
生殖毒性	区分2		

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分3	水生生物に有害
水生環境慢性有害性	分類できない	

13. 廃棄上の注意

地域、国、現地の法律及び規則に従って適切に廃棄をすること

14. 輸送上の注意

国連番号及び国際分類	
国連番号	1950
国連輸送名	可燃性エアゾール
国連分類	クラス2.1
容器等級	該当しない
輸送または輸送手段に関する安全対策	容器漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う
国内規制がある場合の規制情報	
共通	取扱い及び保管上の注意の各項に従う
陸上輸送	消防法及び道路法などの定めるところに従う
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従う
航空輸送	航空法の定めるところに従う
緊急時応急措置指針	
指針番号	126(気体-圧縮又は液化(冷却気体含む))

15. 適用法令

化管法	指定化学物質：ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルトリウム
労働安全衛生法	第57条の2通知対象物：イソプロピルアルコール 危険物：可燃性ガス(噴射剤) 有機溶剤中毒予防規則：該当しない 特定化学物質障害予防規則：該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
PRTR法	該当しない ~2023年3月31日 該当しない 2024年4月1日~
高圧ガス保安法	適用除外

16. その他の情報

参考文献：NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

備考：[免責] このSDSはJIS Z 7253：2019に準拠をして作成をしております。

本記載内容は、通常の実用を前提としており、他の物質と組み合わせたり混合をする場合は、安全対策を講じた上でご使用ください。

改訂日における最新の情報に基づき作成しておりますが法令の改正及び新しい知見に基づいて危険有害性を有する可能性があります。

御使用の際は可能な限り安全確保に努め、ばく露を避けるように充分ご注意ください。